

令和4年4月7日(木)

## 保護者説明会 校長から

あらためまして、皆さんこんにちは。校長の「笠井 兵彦」と申します。どうぞよろしく願いいたします。今ほど、入学式を終えられ、保護者の皆様のお喜びはいかばかりかと存じます。誠に、ご入学おめでとうございます。ここからは、お子様の入学にあたり、校長として保護者の皆様とぜひとも共有しておきたい事柄についてお話しをさせていただきます。

### 1 コロナウイルス感染症対策について

ご承知のように陽性者の高止まりが続いており、今後もさらなる感染者数の増加が懸念されています。県立高校での感染者数も春休みに入って急激に増加し、臨時休業となる学校が相次ぎました。本校では生徒一人一人の自覚ある行動によって、臨時休業とはなりませんでしたが、今後も注意が必要です。特に部活動では、部室や更衣室での密を避け、活動前後や休憩中はマスクの着用や手洗いの徹底、普段と体調が少しでも異なる場合や、同居家族に同様の症状が見られるまたは検査の予定がある場合は参加しないようにすることを徹底していきたいと思えます。学校生活全般において、感染症対策を徹底してまいります。ご家庭での感染予防対策も引き続きお願いいたします。また、お子様に発熱や風邪のような症状、強いだるさ、息苦しさがある場合は登校を控えさせて下さい。出席の取り扱いについては、コロナ感染症の疑いがある場合は出席停止となりますのでご承知おきください。毎朝検温（体温を測り）して自分の体調を確実に把握した上で登校するように家庭でも御指導をお願いいたします。

### 2 観点別学習状況評価について

今年度入学生から、新学習指導要領が完全実施となり、学習評価も観点別学習状況評価を取り入れることとなりました。目的は生徒に対して評価規準（ルーブリック）を事前に提示し、多様な方法で評価することによって何ができるようになったか、改善すべきことは何か、を生徒にフィードバックしていくこと。及び、生徒のよい点や進歩の状況を積極的に評価し、生徒一人一人が自分の良さや可能性を認識できるように指導していくことです。本校ではいわゆる定期考査を実施しておりませんので、評価については日々の授業における小テストやパフォーマンステスト、課題やレポート提出などを通じた形成的評価、ならびに授業内容のまとめりごとに行う単元（小単元）テストを授業時間内に実施する総括的評価、この2つを組み合わせ多様な評

価値軸で学習評価を行ってきました。これまでの経験を生かした、観点別学習状況評価を行っていきます。詳細はお手元の資料をご覧くださいと思います。従来の学校教育では、定期考査の際だけ試験対策的な勉強をして、点数さえとればよく、丸暗記に走る。暗記した知識は、テストの時にはき出して終わる。これでは、自ら考える力や主体的に学ぶ姿勢は身につけません。したがって、日頃から課題意識を持って諸科目の授業に臨み、地道に家庭学習を積んでいく習慣が必要となります。定期考査に頼らずとも、適切な観点別学習状況評価を通して生徒の学習改善や教師の指導改善につなげていく、いわゆる指導と評価の一体化を目指しており、それが生徒の利益につながると考えておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

### 3 生徒の命を最優先に考える学校

高校生活では様々なことが発生します。本校でも規則違反やルール違反などに伴う生徒指導事案やいじめ事案が起きています。また、クラスや部活の人間関係に悩みリストカットをする生徒など、ハイリスクを抱える生徒も出ています。本校では、「どの生徒にも起こりうる」という意識を持って、生徒の些細な変化を見逃さず、生徒が発するサインをいち早くキャッチし、職員間で情報共有を図ります。しかし、生徒の支援をする上で最も大切なことは、保護者の皆様の協力であります。学校と保護者が同じ方向に向かって、子どもたちを支えていく。ここが一番重要であります。そのために、本校では保護者の皆様と情報を共有したいと考えています。悩みや苦しさを訴える子は、ほとんど「先生、絶対親には言わないで！」と言います。なぜならば、それを言ったときの親の反応が心配だからです。必要以上に心配し介入されるのも嫌だし、かといって何も心配しない、本気にしない、あるいは無関心な様子であっても嫌だからです。本校では、こうした状況の時、まず生徒に対してどうして親に言いたくないのか？理由を尋ねます。そして、どのような伝え方であれば納得できるかをよく話を聴いて対応したいと思いますが、どうしても本人の同意が得られない場合もあります。しかし、同意が得られないからと言って保護者の皆さんに伝えないわけにはいかないこともあります。特に命に関わるケースの場合は、本人の同意が得られずとも情報を共有させていただくことがありますのでご承知置き下さい。

本校の職員には「生徒の命を預かる覚悟」をもって職務にあたるよう指示しているところであります。若い命が一番輝かなくてはならない高校時代に、命を落とすようなことがあっては断じてなりません。そのためにも、生徒支援に不可欠な情報共有にご理解とご協力をお願いいたします。また、今年度も自殺予防教育の一環として「SOSの出し方に関する授業」を計画的に実

施してまいります。加えて、保護者の皆様と一緒に自殺予防教育について研修する機会も設けたいと思います。詳細についてはホームページやメールメイトで情報提供してまいりますのでご確認ください。

メールメイトについては別紙をご覧ください。新潟東高校のメール配信システムであり、学校の教育活動等について様々な情報を発信しています。また、冬場は登下校の指示などについて緊急の連絡を出すこともあります。ぜひ、親子で本日中にご登録いただければと思います。

### 3 おわりに

生徒たちには、「今ここで」の時間を充実させることが大切です。我々大人の責任として、子どもたちが夢を描き、それを叶えたいと感じたときに、それを実現させるための実力をつけさせておくことが必要です。

とはいえ、高校生年代の子どもたちは些細なことで心が揺れ動き、不安定な状況に陥ることがあります。「揺らぎ」は成長のために必要な学びの機会でもあります。揺れすぎないように揺らぎの幅をコントロールする必要があります。そのためには学校と保護者の皆様が手を携えて生徒一人ひとりに目を配り、見守っていくことが肝心です。保護者の皆様とともによりよい新潟東高校にして行きたいと考えていますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。